

東京23区が
見える。わかる。

2025 WINTER
Vol.59

ワンツースリー One23

公益財団法人特別区協議会 特別区自治情報・交流センター発行の東京23区情報誌

特 集

知の施設 あんなこんなの教育施設紹介

■知の施設

渋谷区…こども科学センター・ハチラボ

中野区…みらいステップなかの

杉並区…杉並区立就学前教育支援センター すぎっこひろば

豊島区…豊島区立池袋第一小学校

北 区…北区立都の北学園

荒川区…荒川区立町屋文化センター

■クマなくさんぽ

…文京区

文京区立森鷗外記念館

■所蔵資料蔵出し

…「東京都オリンピック時報」

もっと活用しよう!

特別区自治情報

こんなことしたよ

公益財団法人特別区協議会・東京都公文書館共催パネル展示

「アーカイブズって何だ?~

東京都公文書館所蔵資料の形成史」



令和6年11月2日(土)から12月24日(火)まで、東京区政会館1階エントランスホールにおいて、東京都公文書館との共催によるパネル展示「アーカイブズって何だ?~東京都公文書館所蔵資料の形成史」を開催しました。

今回の展示では、1968年に開館した東京都公文書館が2020年4月に国分寺市泉町に移転オープンしてから5周年を迎えたことを機に、東京都公文書館の沿革をたどりながら、国の重要文化財に指定されている東京府・東京市行政文書をはじめとする貴重な所蔵資料を一挙にご紹介しました。



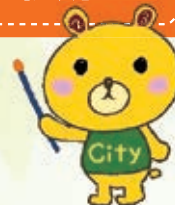
展示会場の様子

こんなことやるよ

令和6年度第2回全国連携展示

「特別区全国連携プロジェクト10年のあゆみ~パネルで振り返る軌跡~」

平成26(2014)年9月に開始した特別区全国連携プロジェクトは、令和6(2024)年に10年の節目を迎えました。そこで今年度は、全2回の全国連携展示を通して、これまでの取組の実績や振り返りの展示を行います。第2回の展示では、過去の全国連携展示において、展示したパネル等からプロジェクトの10年を振り返り、これまでの全国連携展示のあゆみや取組についてご紹介します。



開催期間 令和7年1月10日(金) ~ 3月4日(火)

展示時間 平日 9:00 ~ 20:30 / 土曜日 9:00 ~ 17:00

会場 東京区政会館1階エントランスホール(千代田区飯田橋3-5-1)

主催 特別区長会・公益財団法人特別区協議会



・交流センター

特別区自治情報・交流センターとは？

23区(特別区)と地方自治の専門図書館として約11万9千冊の資料を所蔵しています。特別区や地方自治について知りたい、調べたいときなどにご利用ください。

所蔵資料
蔵出し

おすすめのほんだよ

当センターの資料から読み解いてみよう!



▶▶ 東京都オリンピック時報

今回は、「東京都オリンピック時報」をご紹介します。

本誌は、昭和35(1960)年から昭和39(1964)年に東京都オリンピック準備局から刊行された、昭和39年開催の東京オリンピックに向けた動きを伝える雑誌です。

「時報23号」では、選手村についての特集記事が掲載されています。

先般行われたパリ2024オリンピック・パラリンピックでも話題となった選手村ですが、当時から、選手村は成功の鍵を握る大きな要素であり、施設や運営には細心の配慮が要求されると言われていました。

この時に用意された3つの選手村では、選手達に十分な休養と栄養を提供して最高のコンディションで競技に臨むことができるようにすることを目標に掲げ、過去の開催地での状況を踏まえて様々なサービスを提供することにしました。

例えば、食事については6,000kcal以上のものを用意し、一般食はもちろん減量食をはじめとした特別食についても研究していること、国内の有名ホテル等で働く約900名に従事をお願いしていること等が記されています。また、従事する人々も熱い思いで関わっていることが「時報25号」の調理長の寄稿文から読み取ることができます。



時報23号



代々木選手村



時報25号



時報26号

左は、「時報26号」に掲載されている、聖火リレーの都内4コース総括図です。

聖火は、アテネから諸外国を経て九州に到着した後、4つのコースに分かれ、都内4か所にリレーされてきました。

さらにそこから約45日かけてゴールの国立競技場に向けた聖火リレーが行われました。都内のコース延長総計は201.5km、随走者も含めて2,500人を超えるランナーが参加する大規模なものでした。

各資料からは、世紀の祭典とも言われた昭和39年の東京オリンピックが特別な一大行事であったことをうかがい知ることができます。

★これらの古い資料は実際に手にとって閲覧いただけます。興味のある方はお気軽にカウンターまでお声がけください。

普段とは違う視点から見た23区、
知ればもっと面白い！

コマなく さんぽ



文京区

明治の文豪・森鷗外を知る 「文京区立森鷗外記念館」

明治の文豪として知られる森鷗外が、その半生を過ごした文京区千駄木の地に建つ「森鷗外記念館」。明治・大正を代表する知識人としての森鷗外の、文学や医学にとどまらない業績と人となりを知ることができる施設です。

才能豊かな鷗外の業績を辿る

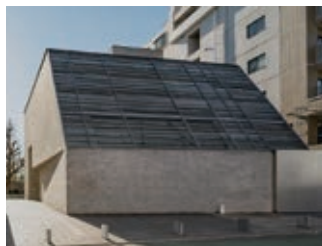
文京区立森鷗外記念館は、2012年11月に森鷗外の生誕150年を記念して開館しました。同館は、鷗外が1892年から亡くなる1922年まで過ごした旧居「観潮楼」の跡地にあり、敷地内には観潮楼の旧正門跡の礎石や庭石、大イチョウなどが残されています。鷗外は、小説家、戯曲家、評論家、翻訳家、陸軍軍医といくつもの顔をもち、多くの業績を残しています。同館では、約9千点に及ぶ鷗外や家族の遺品資料と、鷗外の著作や鷗外についての研究書、同時代文学に関する図書など約1万6千冊の図書を収集しており、展示を通して鷗外の業績を伝えています。

鷗外のさまざまな「顔」を紹介

1階には、ミュージアムショップとカフェ、2階には図書室と講座室を設けています。地下1階展示室の常設コーナーでは、写真や自筆原稿、遺品などの展示により、幼少期から晩年までの生涯を辿り、鷗外のさまざまな「顔」と偉大な功績にふれることができます。年2回ずつ開催する「特別展」と「コレクション展」では、鷗外の多彩な活躍や同時代の文人との交流など、知られざる鷗外の魅力を紹介しています。映像コーナーでは、さまざまな切り口で鷗外に触れる4本のプログラムを上映しています。鷗外の作品は、難解なイメージで一般の方に馴染みが薄いことから、同館では鷗外のプライベートなエピソードや趣味を紹介するなど、作品以外の側面から関心を持ってもらう工夫もしています。

文学と人と街とが交流する場に

館内には、オリジナルグッズを販売するショップやカフェも併設しています。鷗外ゆかりの庭園を眺めることができる「モリキネカフェ」では、鷗外が留学していたドイツにちなんだメニューや、展覧会ごとにオリジナルスイーツなどを提供しています。同館は、街歩きエリアとして人気がある「谷根千」と呼ばれる地域にあることから、散策スポットとして、まずはカフェや庭歩きなどを目的に気軽に訪れてほしいと話しており、少しずつ親しんでもらうことを目指しています。



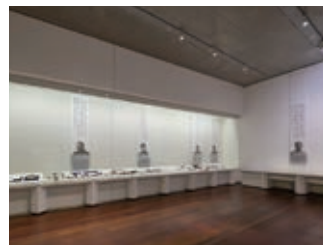
▲凛とした特徴的な建物



▲礎石と敷石が残る旧正門跡



▲観覧者を迎える鷗外の胸像



▲鷗外の生涯をたどる常設展示



▲所蔵資料が閲覧できる図書室



▲窓から庭園が見えるカフェ

文京区立森鷗外記念館では、年2回ずつ 「特別展」と「コレクション展」を開催しています。

●コレクション展

「鷗外の妹・喜美子の家族—森家と小金井家—」

鷗外の妹・喜美子を中心とした森家と小金井家(婚家)の親交の様子を、喜美子の著作や鷗外ら家族の日記や書簡などの館蔵資料により紹介します。

開催期間：2025年1月18日～2025年4月6日

文京区立森鷗外記念館

所在地 文京区千駄木1-23-4

開館時間 10:00～18:00(最終入館は17:30)

休館日 第4月・火曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)

入館料 年未年始(12/29～1/3)・展示替期間・燻蒸期間等
通常展／一般300円、中学生以下無料

特別展は展示により料金が異なる(中学生以下無料)

アクセス 東京メトロ千代田線千駄木駅より徒歩5分

お問合わせ 03-3824-5511





特集

知の施設

第3回(全4回)



あんなこんな教育施設紹介



渋谷区



子どもたちが科学に興味を持つきっかけの場に

「こども科学センター・ハチラボ」は、「見て・触って・考える」体験型の科学館です。学校や学年の垣根を越えた子どもたちが、「普段学校では体験できない科学・技術・数学のプログラムやものづくり」を体験する場であり、科学的思考やものづくりの意欲を育てる機会として開設しています。主に科学や数学に関連した体験型の展示のほかに、パネル展示や映像展示も常設しています。今後は、科学に興味のない子どもたちにもアプローチし、科学の面白さを伝えていくことを目指していきます。



大学やNPO、企業などと連携して、学校の授業では体験できないような実験やものづくりをして学ぶ「ワークショップ」、「ハチラボ講座」、「科学クラブ」などを開催し、テーマの異なる「特別展」を年間5回開催しています。また、区立小中学校で「出前授業」や「クラブ活動支援」を行っています。

こども科学センター・ハチラボ

所在地 渋谷区桜丘町23-21
渋谷区文化総合センター大和田3階
開館時間 10:00～17:00
休館日 毎週月曜日(休日の場合はその翌日)、
年末年始(12/29～1/3)
利用料金 無料
アクセス JR渋谷駅新南改札より徒歩5分
お問い合わせ 03-3464-3485



中野区



地域とつながり、学び・相談・成長できる施設

「みらいステップなかの」は、2021年に、子ども・若者支援センターと教育センター、中野東図書館の複合施設として、中野東中学校に併設してオープンしました。子ども・若者支援センターや教育センターでは、子どもとその家庭や若者を対象にさまざまな相談を受け付けています。グローバル社会で活躍できる生徒の育成を目指す中野東中学校と、区民の学びと自立を支える「知の拠点」の役割を担う中野東図書館とともに、教育や福祉に関する情報を共有し、各機関が連携して利用者支援を行っています。



施設全体が本をイメージした「知」の集積施設となっています。中学校は、夜間休日な体育館や校庭を一般開放し、図書館は子育てやビジネス支援に力を入れています。子ども・若者支援センターと合わせて子どもから大人、高齢者まで世代を問わず区民に広く活用され、地域との共生を実現しています。

みらいステップなかの(中野区立中野東中学校併設)

所在地 中野区中央1-41-2
(中野東中学校・中野区中央1-41-4)
開業時間/休業日 各施設により異なる(HP参照)
利用料金 無料
アクセス 東京メトロ丸の内線中野坂上駅より徒歩2分
お問い合わせ 中野区子ども・若者支援センター
03-5937-3257



杉並区



子供園・幼稚園・保育所の教育と保育をサポート

杉並区立就学前教育支援センターは、就学前教育の更なる質の向上を目指し、区内全ての子供園・幼稚園・保育所等に対する教育的支援を総合的に行うことを目的として設置されました。併設している杉並区立成田西子供園を区の就学前教育に係る研究実践園として位置付け、子供園職員と本センターの幼児教育アドバイザー等専門職が協働し、実践的な研究を実施し、成果を広く発信しています。また、特別支援教育の推進や、就学支援相談、小中学校への巡回による教育支援等も実施しています。



地下1階にある資料センターでは、就学前教育に関する実践的な調査や研究に役立つ一般図書や専門誌、児童書等を所蔵しています。就学前教育支援センター職員の利用に加え、公立私立問わず杉並区内にある幼稚園や保育所等の就学前教育施設の保育者や、杉並区立小学校教員による閲覧や貸出が可能です。

杉並区立就学前教育支援センター

所在地 杉並区成田西2-24-21
開館時間 8:30～17:00
休館日 土・日・祝・年末年始(12/29～1/3)
利用料金 無料
アクセス 京王井の頭線浜田山駅より徒歩13分
お問い合わせ 03-5929-9480



豊島区



地域とつながり緑と触れ合う「森の中の学校」

校舎内外や校庭にさまざまな植栽が施されている「池袋第一小学校」は、老朽化に伴い改築され2022年に開設しました。「森の中の学校」をコンセプトに、過去から未来へつなぐ自然の風景の創出と、学校と地域のつながりを大切にし、児童がこの地で育ったことを誇りに思える学校となるよう計画されました。校舎の北側には、地域住民も利用でき防災機能を有した「ひばりがや広場」があり、災害時には校舎一階が校庭と広場をつなぐ貫通道路となるなど、防災拠点としても大きな役割を果たしています。



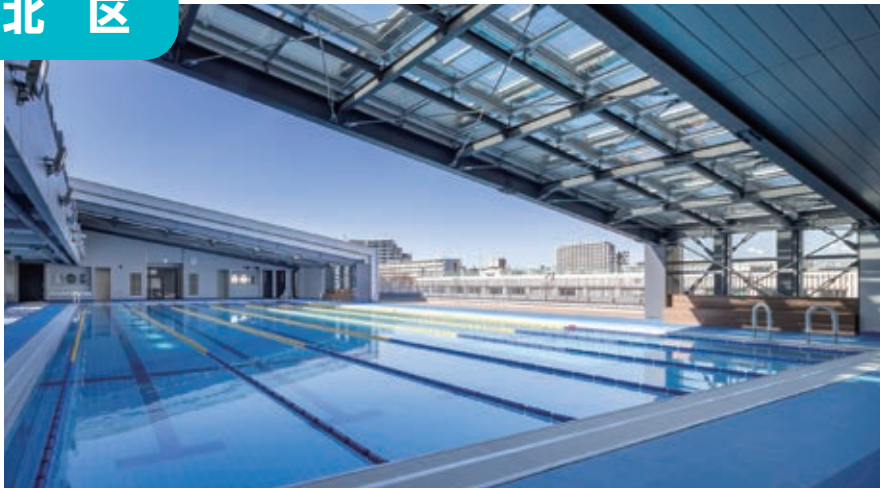
木材をふんだんに使用した校内は温かみを感じる空間になっており、5階建校舎の屋上にある可動床のプールが夏季以外は人工芝の庭になるなど、限られた敷地を有効に使う工夫がされています。地域と「ともに」生き、仲間と「ともに」学び、学校・地域が協力して子どもたちを育ていく学校を目指しています。

豊島区立池袋第一小学校

所在地 豊島区上池袋4-28-1
アクセス 東武東上線北池袋駅より徒歩3分
お問い合わせ 池袋第一小学校 03-3916-3435



北 区



都の北を彩る緑豊かな「北区初の小中一貫校」

「都の北学園」は、「教育先進都市・北区」のさらなる充実と発展を目指し、北区初の義務教育学校(施設一体型小中一貫校)として2024年に開校しました。新校舎のコンセプトは、「都の北(まち)を彩(いろど)るぬくもり溢(あふ)れる学(まな)び舎(や)」です。これまでの伝統や文化を継承し、新しい学校が「まち」のランドマークとして、また旧神谷公園の面影を感じるぬくもり溢れる緑豊かな環境を残しつつ、さまざまな地域の活動拠点として、地域に愛される学校となるよう願いを込めました。



2階吹抜けの「なかよしホール」や開放的な学校図書館の「さくらぶんこ」、可動屋根と可動床を採用した「プール」など、施設も充実しています。児童・生徒の「主体的に学ぶ力」と「豊かな人間性」を育むとともに、地域とのつながりを深め、新たな地域の魅力を創造できる人材の育成を目指しています。

北区立都の北学園

所在地 北区神谷2-30-1
アクセス JR赤羽駅より徒歩15分、
東京メトロ南北線志茂駅より徒歩14分
都営バス「北車庫前」停留所より約10分
前期課程(1年～6年)
03-3901-2724
後期課程(7年～9年)
03-3902-2461



荒川区



生涯学習や文化振興の拠点として賑わいを創出

「荒川区立町屋文化センター」は、1988年に区民の生涯学習や文化活動の場として開館し、2022年にリニューアルオープンしました。2階は、ワーキングスペースやお絵描きコーナー、プロジェクションマッピング、東京藝術大学の学生によるラッピングピアノなどのあるオープンスペースとなっており、幅広い世代が気軽に利用でき、子育て世代や若者の利用も増えています。今後はイベントや広報活動を通じて施設の知名度向上を図り、生涯学習や地域文化振興の場としてさらに活用してもらうことを目指しています。



多目的ホールや音楽練習室は、講演会や音楽練習の利用のほか、江戸文字や木目込み人形などのカルチャー教室、囲碁や水彩画などの文化講座を多数開講しています。落語の寄席や音楽コンサート、朗読会などの入場無料イベントも月1回程度開催しており、参加者が文化に触れ学ぶきっかけづくりを行っています。

荒川区立町屋文化センター

所在地 荒川区荒川7-20-1
開館時間 9:00～22:00
休館日 年末年始(12/29～1/3)、保守点検日
施設利用料 1,300円～22,600円
アクセス 都電荒川線町屋駅より徒歩1分
京成線町屋駅より徒歩1分
都電荒川線町屋駅より徒歩1分
都バス(単41)浅草町～足立梅田町
町屋駅より徒歩2分
公益財団法人荒川区芸術文化振興財団
03-3802-7111



特別区自治情報・交流センターからのご案内

東京区政会館1階展示スペース

東京区政会館1階エントランスホールで各種展示を行っています。どなたでも自由にご覧いただけますが、開催期間・時間に変更になる場合もあります。ホームページ等でご確認のうえ、ご来館ください。

展示時間 平日 9:00～20:30 / 土曜日 9:00～17:00

千代田区魅力紹介展示
「千代田区ミュージアムネットワーク参加館
紹介展示ミュージアムに出かけよう！
～文化・芸術の集うまち千代田～」

主催 千代田区、(公財)特別区協議会
期間 令和7年3月12日(水)
～5月7日(水)

「大森彌先生追悼特別展示」を実施しています

長きにわたり特別区政の発展にご尽力をいただいた大森彌先生の功績や特別区との関わりを紹介するため、「大森先生と特別区の自治」をテーマに特別展示を実施しています。

当センター所蔵資料のみならず、ご遺族からの寄贈書籍等の一部を配架・展示しています。

展示時間 平日 9:30～20:30 / 土曜日 9:30～17:00

場 所 特別区自治情報・交流センター(東京区政会館4階)

併せて、大森彌先生の追悼講演会を11月25日から順次開催しております。
開催日時等の詳細は(公財)特別区協議会ホームページでお知らせします。
すでに開催した講演会は協議会ホームページでアーカイブ配信いたします。



特別区自治情報・交流センターのご利用について

〒102-0072 千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館4階

開館時間 9:30～20:30(土曜日は9:30～17:00) **休館日** 日曜日、祝日、年末年始等

休館のお知らせ

- 全館停電日 令和7年1月24日(金)17時閉館
令和7年1月25日(土)・1月26日(日)休館

※休館期間中は資料の貸出・予約・返却を中止いたします。
ご不便をおかけしますが、利用者の皆様にはご理解のほどお願い申し上げます。

※ご利用にあたっては、(公財)特別区協議会ホームページ等でご確認のうえ、ご来館ください。

(公財)特別区協議会ホームページ

<https://www.tokyo-23city.or.jp/>

特別区自治情報・交流センターホームページ

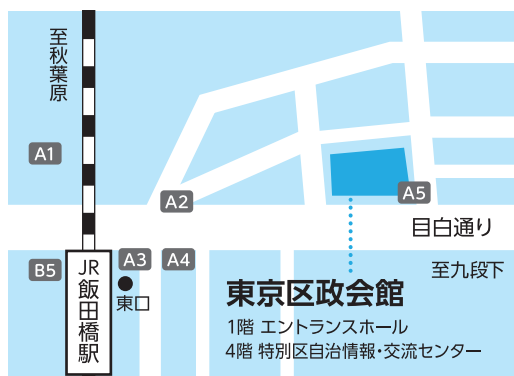
<https://ilisod004.apsel.jp/tokyo-23city/>

特別区自治情報・交流センター(とくべつクマ)

X(旧Twitter)公式アカウント @tokubetsukuma23



特別区自治情報・交流センター



東京メトロ 東西線 飯田橋駅 A5出口すぐ
東京メトロ 有楽町線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
東京メトロ 南北線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
都営地下鉄 大江戸線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
JR中央・総武線 飯田橋駅 東口徒歩2分

編集後記

知の施設の紹介シリーズ第3回をお届けします。新年を迎え気持ちも新たに、知的好奇心を満たしにお出かけになってみませんか。